

第六回山口県総合芸術文化祭協賛事業

第三十四回山口県高等学校総合文化祭

つなごう文化の絆を
進もう創造の世界へ



主催
共催
主管校

山口県・山口県教育委員会・山口県高等学校文化連盟
山口市・山口市教育委員会・防府市・防府市教育委員会
山口県立山口高等学校



あいさつ

山口県教育委員会 教育長 田 邊 恒 美

第34回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式が、「つなごう 文化の絆を 進もう 創造の世界へ」をテーマに、ここ山口市民会館を会場として盛大に開催されますことに対しまして、心からお喜び申し上げます。

この総合文化祭は、文化活動に熱心に取り組んでいる高校生が、日頃の成果を発表する場として昭和54年にはじまり、これまでに多くの感動的なステージや熱のこもった対戦、印象深い作品の展示や発表などが繰り広げられてきました。本年度も各部門の大会や発表が県内各地で開催されます。各部門に参加される高校生の皆さんが、これまで取り組んでこられた努力の成果を十分に発揮されるとともに、参加者同士が交流の輪を広げ、友情を育んでいただきたいと思います。

本県では、県総合文化祭の開催をはじめ、県民一人ひとりが文化芸術に親しみ、真に豊かな社会を形成していくための取組が活発に行われています。また、県教育委員会としても、教育活動の展開に当たっての基軸のひとつとして「地域や伝統、文化を踏まえた教育」を掲げ、ふるさとへの誇りと愛着をもちながら伝統や文化を継承し発展させようとする心や態度の育成を目指しています。こうした中、多くの高校生の皆さんが、様々な文化芸術活動に主体的に参加することで、これからの山口県の文化を創造していく主人公として成長されますことを心から期待しています。

終わりにになりましたが、開催に当たって、格別の御支援、御協力をいただきました地元山口市並びに山口市教育委員会をはじめ、関係各位に対しまして、厚くお礼を申し上げますとともに、本総合文化祭の盛会と山口県高等学校文化連盟のますますの御発展を祈念しまして、ごあいさつといたします。



あいさつ

山口県高等学校文化連盟 会長 松 井 誠

第34回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が西の京、山口市において盛大に開催できますことに感謝申し上げます。

「つなごう 文化の絆を 進もう 創造の世界へ」を大会テーマに各部門の発表会や大会が県内各地で開催されます。日頃から学業に加えて積極的に文化芸術活動に精進されてきた高校生の熱意と努力に心から敬意を表します。力一杯披露される演技や発表、若さあふれる感性と情熱を発揮して創作された数々の作品は、きっと多くの人々に感動を与えるものとなるでしょう。また、大会に出場する高校生と大会を支えてくれる高校生の皆さんが互いに出会い、交流し、感動や達成感を共有することで、文化の絆が強まり友情の輪が広がっていくことを願っています。

さて、東日本大震災は甚大な被害をもたらし、そのような中、福島県で開催された第35回全国高等学校総合文化祭では、福島の高校生が「大切なもの、笑顔、温かさ…たくさん消えました。ですが、希望は残っています」「きっとまた、あの日に帰れるから、その日まで強く生きることを忘れずに、負けないで今と向き合おう」と福島の今を表現しました。この未曾有の困難に立ち向かいながら、参加した人々に感動を与える姿に、誰しも「頑張れ!」と心からエールを送ったと思います。

大会テーマに用いられている「創造」は現実を直視しながらも未来志向の心意気を感じられ、21世紀を逞しく生き抜こうとする高校生の溢れんばかりのエネルギーが伝わってきます。本県の生徒が世界に誇れる文化創造に積極的に関与されることを願っています。

終わりに、開催に当たり御尽力をいただきました山口県教育委員会をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げ、挨拶といたします。



あいさつ

山口市長 渡辺 純 忠

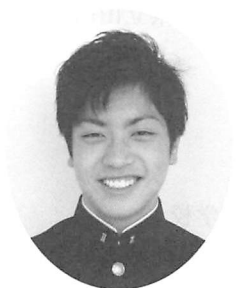
第34回山口県高等学校総合文化祭が、県内各地から多数の関係者の皆様の御参加のもと、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

今年度は、「つなごう 文化の絆を 進もう 創造の世界へ」をテーマに、各部門において、それぞれの成果を県内各地で披露されます。このように、日々の創造活動の中で、個性豊かな作品や感動あふれるステージを作り上げるために、技術の向上はもちろんのこと、自分自身を見つめ、共に励みながら、感性を磨かれることは、高校生の皆さんの心を豊かにすることと思います。

また、このような集いの場におきまして、素晴らしい演奏やお互いの作品に接し、交流を深められますことは、大変有意義なことであります。この総合文化祭が、高校時代の良き思い出として皆さんの心に刻まれると同時に、芸術文化を通じて人と人との繋がりを大切にする心を育てる機会となるものと期待しています。

山口市では、市民の皆様の自主的な芸術文化活動を支援するとともに、本市固有の文化の創造と発信を通じて、本市の価値を高め、市民の皆様の誇りにつながるまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、こうした取組にも、皆様方の若い力の参画を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、平素より熱心に生徒の皆様の御指導にあたられた先生方、並びにこの総合文化祭のために御尽力いただきました山口県高等学校文化連盟をはじめ、関係者の皆様に対しまして深く敬意を表するとともに、御臨席の皆様の益々の御健勝、御活躍をお祈りいたしまして、ごあいさつといたします。



あいさつ

山口高等学校 生徒会長 礒 田 洋 祐

第34回山口県総合文化祭が、県内各地から多くの高校生の皆さんをお迎えし、山口市にて開催されますことを大変嬉しく思います。

今年度のテーマは「つなごう 文化の絆を 進もう 創造の世界へ」です。

ここ山口市は山々に囲まれた自然豊かな地域です。この豊かな自然のもと、山口市にもたくさんの文化があり、古来から現代へと代々受け継がれてきた「文化の絆」があります。プログラムの表紙にもなっています今年度のポスターにも、「伝統的な美を受け継ぎつつ、新しい文化を取り入れ、日本文化が更なる発展をして欲しい」という大きな願いが込められています。

芸術の良さとは、見る人、聞く人に感動を与えることができることだと思います。昨年3月に起きた東日本大震災においても、芸術がどれだけ人の心を動かし、勇気づけることができるものかということを、改めて強く認識させられました。皆さんの作品やパフォーマンスが多くの人々の心に響くことを信じています。

この文化祭を通して、私たち高校生が、現代から未来へと「文化の絆」をつなげ、光り輝く未来を創造していきたいと思っています。私たちが創造する未来が、また新たな絆によって、更なる未来へとつながっていくことを心より祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

第 34 回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

平成 24 年 6 月 14 日 (木) 13:30 ~ 15:00

山口市民会館 大ホール

1 式 典

◇開 会 宣 言 山口県立山口高等学校生徒代表 田 中 沙耶香

◇専門部紹介

○演劇○器楽・管弦楽○合唱○吹奏楽
○マーチングバンド・バトントワリング
○日本音楽○吟詠剣詩舞○美術・工芸
○書道○写真○囲碁○将棋○放送○文芸
○自然科学 (以上 15 部門)

◇主 催 者 挨 拶

山口県高等学校文化連盟会長
山口県教育委員会教育長
山口県立山口高等学校生徒代表
山口市長

松 井 誠
田 邊 恒 美
磯 田 洋 祐
渡 辺 純 忠

◇歓 迎 の 言 葉

◇来 賓 紹 介

◇表 彰

〔功 績 賞〕

〔優秀芸術文化賞〕

〔テーマ最優秀賞〕

中 村 芳 喜 (山口県立下関西高等学校長)
生 田 照 代 (山口県立下関中等教育学校教諭)
山口県立華陵高等学校舞台芸術部
山口県立山口高等学校 2 年 村 田 絵 充

【進行】山口県立山口高等学校放送部

2 慶祝演奏

◇マーチングバンド 『カーン・イービル 9 』

【演奏】山口県鴻城高等学校
〈指揮〉内田 良一 (山口県鴻城高等学校)

◇吹奏楽

『歌劇ローエングリンから「エルザの大聖堂への行列」』

【演奏】山口地域高等学校吹奏楽団
〈指揮〉丸山 航 (西京高等学校)

◇器楽・管弦楽 合唱

『カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」』
『オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」』
『翼をください』

【演奏】山口県高等学校管弦楽団・合唱団
〈指揮〉西村 正浩 (山口中央高等学校)

3 山口県高等学校文化連盟表彰者

(1) 功績賞

中 村 芳 喜(山口県立下関西高等学校長)

長年にわたって吹奏楽部顧問として指導に携わり、全国本吹奏楽コンクールや全国高等学校総合文化祭に出場するなど、大きな業績を残すとともに、山口県吹奏楽連盟役員を長年務めるなど、高校吹奏楽の発展に寄与した。

生 田 照 代(山口県立下関中等教育学校教諭)

長年にわたって書道部顧問として書道の指導に携わり、全国高等学校総合文化祭に多数の生徒の作品を出品させるなど、大きな業績を残すとともに、山口県高等学校書道教育の発展に寄与した。

(2) 優秀芸術文化賞

山口県立華陵高等学校舞台芸術部

第35回全国高等学校総合文化祭演劇部門大会(福島大会東日本大震災復興支援香川大会)において、全国各ブロック代表12校中、第1位(最優秀)の成績を収め、山口県高校生の文化活動の発展に大きく寄与した。(なお、全国には2000校以上の高文連加盟の演劇部がある中の第1位であり、山口県内の演劇部で全国1位になったのも今回の華陵高校が初めてである。)



(3) テーマ最優秀賞

村 田 絵 充(山口県立山口高等学校2年)

「つなごう 文化の絆を 進もう 創造の世界へ」

4 慶祝演奏出演校

[山口地域高等学校吹奏楽団]

西京 山口農業 中村女子 山口 各高等学校

[山口県高等学校管弦楽団]

防府 山口中央 柳井 山口 各高等学校

[山口県高等学校合唱団]

防府 山口中央 中村女子 野田学園 萩 宇部中央 岩国 萩光塩学院 山口 各高等学校

各部門開催日程及び会場

◇将 棋 部 門	5月26日(土)～27日(日)	防府市文化福祉会館
◇音 楽 4 部 門(合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、マーチングバンド・バトントワリング)	6月15日(金)～16日(土)	防府市公会堂
◇日本音楽部門	6月16日(土)	菊川町ふれあい会館アブニール
◇文 芸 部 門	7月 2日(月)～10月20日(土)	徳山商工高等学校
◇囲 碁 部 門	10月21日(日)	宇部高等学校
◇演 劇 部 門	10月26日(金)～28日(日)	下関市民会館
◇放 送 部 門	11月10日(土)	ニューメディアプラザ山口
◇展 示 3 部 門(美術・工芸、書道、写真)	11月16日(金)～18日(日)	山口市市民会館

専 門 部 紹 介

演 劇



演劇では、一度舞台上に登場したら退場するまでは「いない」ことにはできません。映画やドラマでした

ら、カメラで登場人物を映さなければいけないことができます。しかし演劇では、一旦登場したら退場するまで、ずっと観客の視線の先にいなければならないのです。ですから役者は舞台上では一瞬たりとも気を抜くことはできません。ここに演劇を観る緊張感と楽しさが生まれます。さて今年も、8月には県内4地区(周防・山防・宇部・下関)で地区大会が、10月27日・28日には下関市民会館で県大会が、それぞれ開催されます。さらに今年は、5年に一度の中国大会が、周南市文化会館で開催されます。この中国大会には中国5県の代表11校が集まり公演します。今年の山口の高校演劇は今まで以上に面白い。みなさまに、県内そして中国各県の演劇部の上演を楽しんでいただければ幸いです。ご来場を心よりお待ちしております。

(金森 健一)

器 楽 ・ 管 弦 楽

この部門にはギター・マンドリンの合奏や弦楽合奏やオーケストラ活動を部活動としている各高校が参加しています。



県内の演奏会としては、この総合文化祭の他にスプリングコンサートというものをを行っています。今年の3月25日には下関市の生涯学習プラザ「海のホール」で、第31回器楽・管弦楽スプリングコンサートを行いました。来年は山口市民会館で3月30日に行われる予定です。

全国高校総合文化祭への参加も積極的に行っています。昨年度は岩国高等学校のプレクトラムアンサンブル部が福島県に赴き、すばらしい演奏を披露してくれ

ました。東日本大震災からわずか5ヶ月という短い期間でしたが、多大な困難を乗り越えて、開催にこぎつけてくださった福島県高文連器楽・管弦楽部会並びに、放射能やその他の問題を踏まえながらも、参加してくださった岩国高等学校の皆さんに改めて深い謝意を示したいと想います。

今年は富山県で行われる全国総文へ山口中央高等学校が参加する予定です。すばらしい演奏を披露してくださるだろうことを祈念しております。

(飯田 幸生)

合 唱



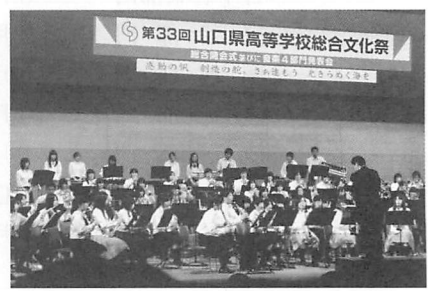
「つなごう 文化の絆を進もう 創造の世界へ」のテーマのもと、私たち合唱部門は総合開会式に山口

県高等学校合唱団として参加します。本日の演奏のために、各校で練習を重ねてきました。少人数で活動している高校も少なくありませんが、合唱の活動の火を絶やさぬよう、頑張って練習に励んでいます。音楽の原点は「歌う」ことにあります。今一度原点に立ち返って「歌う」ことの楽しさを再認識して、高校生の合唱人口が一人でも増えてくれることを心から願ってやみません。今日は、大人数で、しかもオーケストラと共演できる貴重な機会です。日ごろの練習の成果を十分に発揮して、明るく、よく響く歌声で美しいハーモニーをお届けしたいと思います。

(田中 睦)

吹 奏 楽

私ども吹奏楽部門は県内に概ね70団体、1500有余人の部員生徒が存在し、各学校で日々研鑽を積みな



がら、地道に活動しております。

今、本県高等学校文化連盟の総合文化祭、及び、音楽4部門発表会は、その大会運営について色々と議論されているところです。私どもの部門は、所属数の上では高文連の中心的な存在であると言えます。それ故に、これについて大きな責任も感じております。先輩諸氏より受け継ぎ発展させてきた、吹奏楽の仲間の輪、音楽文化の仲間の輪の力を結集し、その責任を積極的に果たしていきたいと考えております。

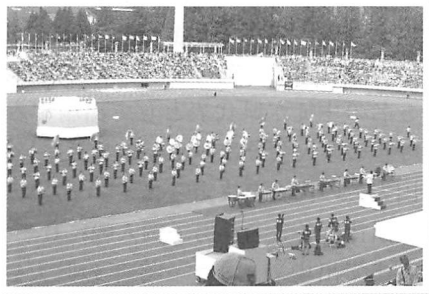
昨年度の部門の活動として、我々の先輩でもある中井勝先生を講師にお招きし、指導者の研修会を実施いたしました。生徒たちの指導方法や我々の指導者としての心構えなどをご教示いただき、大変有意義な研修となりました。

最後に、今年度の全国総文祭の吹奏楽部門ですが、8月9～10日に富山県魚津市で開催され、本県からは下松高校が参加の予定となっておりますので、ご紹介いたします。

(志道 博資)

マーチングバンド ・バトントワリング

この部門は、マーチングバンドとバトントワリングで組織されています。各校とも地域の行事や各大会に出場し、熱心に活動しています。



昨年は、山口国民体育大会・山口大会の総合開会式に出演し、大変素晴らしい経験をする事が出来ました。また、今年の総合開会式では、ここ山口市民会館で山口県鴻城高等学校吹奏楽部が、ステージマーチングを披露いたします。また、音楽4部門発表会では、誠英高等学校、慶進高等学校がバトントワリングの演技もいたします。

山口県は、マーチングやバトンに取り組む学校が少なく活動の場も限りがありますが、この総合文化祭で披露される演奏・演技を見て魅力を感じていただけたと思います。お楽しみください。

(内田 良一)

日本音楽



本県の日本音楽部門は、琴・三味線・太鼓・郷土芸能・仕舞で組織されています。各校部員は、日本の伝

統文化の素晴らしさを実感しながら、その後継の一端を担っているという誇りを持って、日々練習に励んでいます。「日本音楽」と聞くと、古臭さを感じる人もいますが、そんなことはありません。多くの学校が取り組む琴においては、古曲のほか現代の曲も多く扱い、アップテンポやリズムカルなものなど幅広い表現を楽しんでいます。動の曲あれば静の曲あり、静の仕舞あればにぎやかな三味線や郷土芸能、そして魂を揺さぶる太鼓あり。そんなバラエティに富んだ内容をすべてお見せできるのが、6月16日(土)アブニール(菊川町ふれあい会館)で開催される、高校総合文化祭の発表大会です。和楽器の美しい合奏の音色、そして威勢の良い掛け声と太鼓の胸を打つ響き、華やいだ音頭、踊りの輪に、ひと時心を癒してみませんか。ぜひ見に来てください。

(木坂 佳津江)

美術・工芸

美術・工芸部門の活動には、多様な表現活動があります。絵画、版画、デザイン、工芸、彫刻、映像の各



分野で、さまざまな素材や画材を使った多様な表現内容で、平面作品や立体作品が生まれてきます。毎年秋に行われる県高等学校総合文化祭の展示には県内各校の美術部や芸術部などの部員の優秀な力作が150点あまり出品され、レベルの高い展覧会となります。平面作品は多くの作品が一辺1mを超える大作で、油絵やアクリル画など本格的な作品が並び観覧者を圧倒します。立体作品は手の込んだ工芸作品や、高さ1mを超える彫刻作品が展示され、作者の思いや気持ちの込められた作品が並びます。美術の表現内容や表現方法は「こうあるべき」といったものではなく、大切なのは作者

がどう思い、どう考え、どう表現するのか。しっかりとしたコンセプトを持った、質の高い作品の制作を期待します。

今年度の美術・工芸部門は山口市市民会館展示ホールで11月16日～18日に開催されます。展示会ではお互いの作品を鑑賞し、交流と親睦を深め、今後の創作意欲を高めていただければと思います。

(濱崎 洋)

書 道



書道部門の主な活動は、毎年秋に開催されます県総合文化祭での作品展示や県内の書道部員による1泊2

日の生徒研修会です。全国総合文化祭に向けて、まずは、県総合文化祭での入賞を目指し、日頃はそれぞれの学校で地道に練習を続けています。また、県総合文化祭では、個人の作品だけではなく、生徒研修会で他の学校の生徒と共同して制作した大作を屏風に表装して展示しています。

最近では、書道パフォーマンスを行う学校も増えており、校内の文化祭だけではなく、校外へもその活動の場所を広げています。

このように、各学校の書道部は個々の技術の上達とといった個人的な活動だけではなく、他の学校の生徒や先生、地域の方々との交流も図りながら幅広く活動を行っています。

(梶山 美智子)

写 真

写真専門部の活動の中心となるものは、県高等学校総合文化祭での作品展示です。この作品展示にとも



なう審査の結果により、次年度夏の全国総文への出品作品が決定します。一昨年度より、展示作品の審査と、県総文最終日の撮影研修の講師を、日本写真家協会会

員の現役プロカメラマンに依頼しております。研修会と講評会において参加生徒はレベルの高いプロの眼からのアドバイスや指導を直接受けることができました。2月にも各校写真部から提出された作品に、プロカメラマンが直接、講評コメントを書き込んだものを受け取る、という研修会を行いました。これらのことは写真部生徒や顧問の写真撮影技術向上につながるものと考えています。今後もしできる限り、山口県の高校写真部のレベル向上を目指した取り組みを続けていきたいと思っています。

(尾崎 勝利)

囲 碁



今年の囲碁部門の県大会は、10月21日(日)に宇部高校で行われます。この大会は、段級位認定戦と代表

決定戦とに分かれています。段級位認定戦では、成績に応じて認定状を取得できます。代表決定戦では全国大会と中国大会の代表を決定します。全国大会には、男女混成の団体戦に3名、男・女個人戦に各1名、計5名の生徒が県代表として出場することになります。今年の県大会では、来年の8月に長崎県で行われる全国大会の代表を決定します。また、中国大会には、男女団体に各3名、男子個人戦に6名、女子個人戦に3名まで出場できます。今年の県大会では、今年の12月に本県で行われる中国大会の代表を決定します。

大会参加者には、囲碁の勝敗だけでなく、囲碁の楽しさや面白さも満喫してもらえるものと思います。初心者の方もどうぞ気軽に大会に参加してみてください。

(高野 朝男)

将 棋

将棋は脳に汗をかく頭脳のスポーツです。運不運の入り込む余地は少なく、実力がある方が勝ちます。し



かし、将棋の強さは技術だけではありません。強靱な精神力も必要です。勝ちたい、勝てそうだと、後少しで勝ちだ。安全な指し手を選んで確実に勝ちたい。戦う敵は対局相手だけではなく、プレッシャーに弱い自分自身でもあります。頭脳を鍛え、プレッシャーを楽しんでみませんか。

山口県の高校生は県外大会でも活躍しています。昨年は男子個人戦で、長府高校が全国高校総文5位と中国選手権大会3位、下関西高校が中国選手権大会5位に入賞。女子個人戦では、防府高校が中国選手権大会優勝と大活躍でした。自分が考えた手を指し、駒を自由に操り、脳に汗をかきながらプレッシャーを克服した成果です。さて…早速君も、将棋部の扉を開けてみてはいかがですか？

(岡 茂樹)

放送



放送部というと一般的に「校内放送」というイメージがあるかと思いますが、活動の内容は多彩です。学

校行事での司会進行、マイク等放送機器のセッティングといった普通(?)の活動だけでなく、NHK杯全国高校放送コンテスト、全国高等学校総合文化祭という年2回の大会で全国大会を目指して、アナウンス・朗読という「読み」(発声や滑舌など)の練習や、ドラマ、ドキュメント番組の制作(取材、撮影、編集など)に日々励むという運動部的な要素も持っています。

時には同窓会や市、県などからもイベントでの司会や番組制作を依頼されることもあり、地域のさまざまな行事に参加し取材活動を行うなど、校外での活動もさかんに行っています。昨年度は「おいでませ!山口国体」や「おいでませ!山口大会」の総合開会式・閉会式のアナウンスや、各競技会場での司会等を行いました。今年度は5月の「第63回全国植樹祭」式典行事の司会進行も担当します。

(小倉 誠司)

文芸



文芸部門では毎年県内で春から夏にかけて文芸コンクールを行い、その中の優秀校が

次年度の全国総合文化祭に参加します。全国大会では、講演を聞いたりレベルの高い作品に触れることで新たな意欲が沸いてくるのです。各分科会も行われ他校の生徒との交流も深まっていきます。また毎年秋に開催される文芸の中国ブロック大会にも参加しており、今年度は山口県が開催県となっており、中国ブロック文芸コンクールを開催予定です。文芸部の活動としては、一人一人が詩、短歌、俳句、小説を創作したり、部員全員で文芸誌の制作に携わっていくなど、地道ではありますが、自分の思いを言葉に表現していくことの素晴らしさを感じながら日々活動に励んでいます。

(國嶋 洋嗣)

自然科学

自然科学部門は、山口県高文連15番目の専門部として誕生し、平成23年6月に高等学校文化連盟全国自然科学専門部に加盟しました。この専門部は、各高校で日頃から地道に活動が続けている自然科学に関連する部が、互いに研究成果を発表しあい、意見交換をすることにより、自然科学への興味をもっと引き出し、研究を深め、発展させたいという目的で設置されました。よりすぐれた研究には、全国大会での発表の機会が与えられます。

山口県の自然科学部の皆さん、全国総合文化祭での発表を目指して、より研究に励まれることを期待しています。

(大田 和子)

翼をください

山上路夫作詞／村井邦彦作曲／鶴原勇夫編曲

Moderato



いま — わたし の ね が — い ご と が か
いま — と み と か め い — よ な ら ば い



な う な い ら ば つ ば さ が ほ し い
ら な い け ど つ ば さ が ほ し い



女声

し ろ い つ ば
い ま も お な

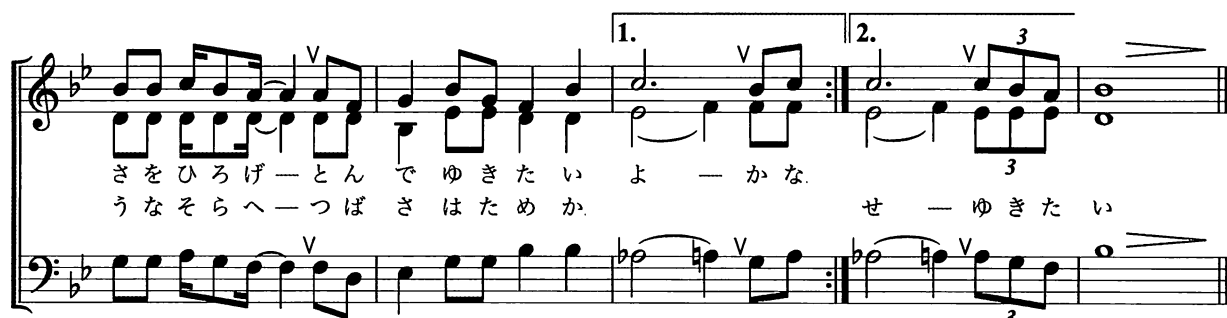


男声

こ の — せ な か に と り — の よ う に
こ ど — も の と き ゆ め — み た こ と



さ (つ ば さ) つ け て く だ さ い い } こ の お お ぞ ら に — つ ば
じ (お な じ) ゆ め に み て い る } し み の な い — じ ゆ



1. さ を ひ ろ げ — と ん で ゆ き た い よ — か な.
う な そ ら へ — つ ば さ は た め か. 2. せ — ゆ き た い

一、いま私の願いごとが
かなうならば 翼がほしい
この背中に 鳥のように
白い翼 つけて下さい
この大空に 翼をひろげ
飛んで行きたいよ
悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ 行きたい

二、いま富とか名誉ならば
いらないけど 翼がほしい
子どもの頃 夢見たこと
今も同じ 夢に見ている
この大空に 翼をひろげ
飛んで行きたいよ
悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ 行きたい

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向川栄美作詞／乗松美紀作曲



てをのばせば ほら きっと だれかがささえて くれる
よびかければ ほら きっと だれかがこたえて くれる



みーわたせーば ほら なかまがいつでも そばにいる きみ
こころをひらけ ば ほら なかまはいつでも まっている きみ



は ひとりじゃない さあ ある きだ そ う
は ひとりじゃない さあ はー ば た こ う



ぼくらのぶん か を つく る た め ー に
ぼくらのぶん か を き ず く た め ー に

一、手を伸ばせば ほら

きっと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きっと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔はばたこう

僕等の文化を築くために

平成 24 年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支部・専門部	所属校
会 長 副会長	松 井 誠 松 根 健 治 中 村 芳 喜 花 田 崇		山口中央高校 岩国高校 下関西高校 慶進高等学校
参 与	川 野 あきら		山口高校
支部長	松 根 健 治 藤 澤 正 信 浅 原 司 藤 井 勇 夫 時 光 善 朗 中 村 芳 喜 中 垣 謙 司	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇部支部 下関支部 長北支部	岩国高校 柳井高校 徳山高校 防府高校 宇部高校 下関西高校 萩高校
専門部会長	時 光 善 朗 松 井 良 治 牛 見 正 彦 時 光 善 朗 佐 藤 知 紀 松 根 健 治 (休部) 藤 澤 正 信 高 原 透 福 永 晃 時 光 善 朗 中 村 芳 喜 河 井 正 敏 栗 林 正 和 松 井 誠	演劇部門 器楽・管弦楽部門 合唱部門 吹奏楽部門 マーチンクバンド・バトントワリング部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 囲碁部門 将棋部門 放送部門 文芸部門 自然科学部門	宇部高校 下関南高校 野田学園高校 宇部高校 山口県鴻城高校 岩国高校 (休部) 柳井高校 長府高校 新南陽高校 宇部高校 下関西高校 周南総合支援学校 徳山商工高校 山口中央高校
専門部理事長	新 竹 伸 芳 飯 田 幸 生 田 中 睦 志 道 博 資 内 田 良 一 木 坂 佳津江 (休部) 濱 崎 洋 相 山 美智子 尾 崎 勝 利 栗 林 浩 治 尾 崎 明 弘 田 中 和 良 國 嶋 洋 治 大 田 和 子	演劇部門 器楽・管弦楽部門 合唱部門 吹奏楽部門 マーチンクバンド・バトントワリング部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 囲碁部門 将棋部門 放送部門 文芸部門 自然科学部門	宇部高校 下関南高校 野田学園高校 宇部高校 山口県鴻城高校 岩国高校 (休部) 柳井高校 長府高校 新南陽高校 宇部高校 下関西高校 周南総合支援学校 徳山商工高校 山口中央高校
監 事	植 山 栄 中 村 龍 夫		防府商工・防府商業高校 西京高校
事務局長 事務局次長 事務局員（総務） 事務局員（会計）	西 村 正 浩 細 川 邦 隆 大 田 和 子 境 谷 公 美		山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校

表紙デザイン

山口県立山口高等学校

美術部 田村 絵里

中野 理子

小森 桂

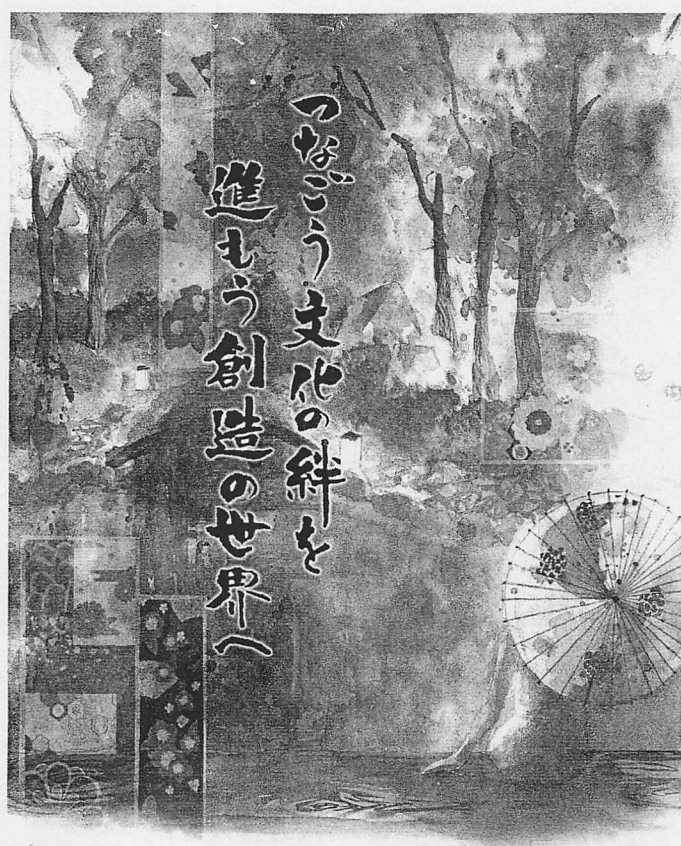
村上 康恵

山川 恵佳

書道部 宮本 明奈



第 63 回 山口県高等学校連合音楽会



期 日 平 成 2 4 年 6 月 1 5 日 (金) ～ 1 6 日 (土)
会 場 防 山 山 防 府 市 公 会 堂
主 催 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山
共 催 防 山 山 防 府 市 公 会 堂 教 育 委 員 會 文 化 委 員 會 教 育 委 員 會

あ い さ つ

山口県高等学校文化連盟
合唱部門 会長 牛見 正彦
(野田学園高等学校長)



第34回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会、並びに第63回山口県高等学校連合音楽会の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

さて、昨年の「おいでませ山口国体・山口大会」での県勢のめざましい躍進や活躍は記憶に新しいところがありますが、今年も先般「第63回全国植樹祭」が開催されるなど、本県全体が歓びに満ちた年であります。そのような中、「つなごう 文化の絆を 進もう 創造の世界へ」のテーマのもと、ここ防府市公会堂においてこのように盛大にコンサートが開催されますことは、極めて慶ばしいことであります。この日のために精進し、練習を重ねてきた皆さんの努力が結実し、各校最高のパフォーマンスが繰り広げられるよう大いに期待しています。

次代を担う若い皆さんが、優れた芸術文化に触れ、あるいは自らその創作活動に参加することは、皆さんの生涯にとって大変素晴らしいことであると同時に、我が国の社会が心豊かなものとなっていく上で、極めて意義のあることであると思います。

また、本大会は相互の交流の場であるとともに、三つの感動を分かち合える大会であって欲しいと考えています。それは、県内各地から多くの高校生が集まることによって生まれる「集う感動」、参加者がそれぞれの発表をすることによって生まれる「伝える感動」、大会運営を円滑に実施することによって生まれる「支える感動」です。集まった多くの仲間達と話し合い、文化の絆を深めていただきたいと思います。

終わりにになりましたが、本大会を開催するにあたり、運営全般にわたってお世話いただきました、主管校である山口県立山口高等学校をはじめとする山防地区の各高等学校に深く感謝申し上げます。また、ご支援いただきました山口県・山口県教育委員会並びに山口市・山口市教育委員会、防府市・防府市教育委員会、さらには会場に関係されます各位に厚くお礼申し上げます。

6月15日(金)

9:30~

吹奏楽

- 1 山口県立佐波高等学校・山口県立防府高等学校佐波分校 (12名)
Tom Tit Tot

作曲 樽屋 雅徳
指揮 西村 美紀

- 2 中村女子高等学校 (17名)
ルーマニア民族舞曲

作曲 ベラ・バルトーク

編曲 後藤 洋
指揮 岸 美砂子

- 3 山口県桜ヶ丘高等学校 (14名)
FOLKLORE FOR BAND
Rising Sun

作曲 EXILE

作曲 Jim Andy Caudill
編曲 佐藤 博昭
指揮 町 信太郎

- 4 山口県立青嶺高等学校 (16名)
セレブレーション・アンド・ソング

作曲 ロバート・シェルドン
指揮 関段 俊徳

- 5 山口県立光高等学校 (27名)
船乗りと海の歌

作曲 ロバート・W・スミス
指揮 宮本 敬司

- 6 山口県立熊毛北高等学校 (22名)
大草原の歌

作曲 R.ミッチェル
指揮 若佐 京子

- 7 山口県立田部高等学校 (13名)
華円舞

作曲 福田 洋介
指揮 三好 五郎

- 8 山口県立山口高等学校徳佐分校 (8名)
Challenge the Future

作曲 Mike Story
指揮 吉元 綾子

- 9 山口県立響高等学校 (11名)
春に寄せて ~風は光り、春はひらめく~

作曲 福島 弘和
指揮 上野香緒理

- 10 山口県立周防大島高等学校 (11名)
日本愛唱歌アルバム
栄光の架橋

作曲 関野 貞一 山田 耕祐
作曲 北川 悠仁

編曲 小島 里美
編曲 小島 里美
指揮 井ノ上 拓郎

吹奏楽

- 11 山口県立岩国高等学校 (14名)
そりすべり
愛と懊悩

作曲 ルロイ・アンダーソン

編曲 中野 薫
作曲 ディーノ・ペッラルーティ
指揮 松本 萌花

吹奏楽

- 12 山口県立奈古高等学校 (19名)
コヴァントン広場

作曲 James Swearingen
指揮 徳富 圭

- 13 山口県立萩商工高等学校 (20名)
マードックからの最後の手紙

作曲 樽屋 雅徳
指揮 杉本 宇

- 14 早鞆高等学校 (23名)
タイ北部民謡による狂詩曲「ラン・パーン」

作曲 八木澤教司
指揮 松井 友介

合唱

- 15 山口県立山口中央高等学校 (8名)
逝く夏の歌
明日へ続く道

作詞 中原 中也
作詞 星野 富弘

作曲 信長 貴富
作曲 千原 英喜
指揮 福本富美子

- 16 山口県立岩国高等学校 (9名)
無門
青い鳥

作詞 安岡 優

作詞 淵上 毛錢
作曲 北山 陽一

作曲 瑞慶覧尚子
編曲 北山陽一 林 敏
指揮 茶川 保子

吹奏楽

- 17 慶進中学校・高等学校 (23名)
Main Tail

作曲 Rammstein

吹奏楽

- 18 山口県鴻城高等学校 (40名)
カーン・イービル9

作曲 K.エマーソン&G.レイク

編曲 T.ウォレス
指揮 内田 良一

13:00~

吹奏楽

音楽4部門代表校会長あいさつ

吹奏楽

- 19 山口県立宇部西高等学校 (25名)
TRIBUTE AND TRIUMPH

作曲 DAVID SHAFFER
指揮 豊田 恵美

- 20 山口県立徳山商工高等学校 (26名)
行進曲「よろこびへ歩きだせ」
喜歌劇「チャルダッシュの女王」セレクション

作曲 E.カールマン

作曲 土井 康司
編曲 鈴木 英史
指揮 有光 昭洋

- 21 山口県立岩国総合高等学校 (27名)
喜歌劇「チャルダッシュの女王」セレクション

作曲 E.カールマン

編曲 鈴木 英史
指揮 小松 秀之

22 聖光高等学校 (22名) 宝島 Takarajima	作曲 和泉 宏隆	編曲 真島 俊夫 指揮 大津 浩一
23 山口県立宇部高等学校 (30名) 銀河鉄道		作曲 広瀬 勇人 指揮 志道 博資
24 山口県立防府商業高等学校・防府商工高等学校 (33名) よろこびへ歩き出せ 喜歌劇「美しいガラテア」序曲	作曲 スッペ	作曲 土井 康司 編曲 磯崎 篤弘 指揮 安部 美雄
25 山口県立小野田高等学校 (34名) Let's Swing!! Make Her Mine〜故郷の空〜Sing,Sing,Sing	作曲 Eric Leese Louis Prima	編曲 山里佐和子 指揮 岡本 美和
26 山口県立新南陽高等学校 (40名) ルーマニア民族舞曲	作曲 ベラ・バルトーク	編曲 石川 雅起 指揮 石川 雅起
27 下関市立下関商業高等学校 (42名) 三つのジャボニスムより		作曲 真島 敏夫 指揮 中村 一
28 山口県立西京高等学校 (45名) マードックからの最後の手紙		作曲 榊屋 雅徳 指揮 丸山 航
29 山口県立岩国高等学校 (46名) ベルセウス〜大空に翔る英雄の戦い〜		作曲 八木澤教司 指揮 佐々木真一
30 山口県立長府高等学校 (53名) よみがえる大地への前奏曲		作曲 鹿野 草平 指揮 吉永 暁子
31 山口県立岩国商業高等学校 (54名) ディオニソスの祭り		作曲 F.シュミット 指揮 藤本 博途
32 山口県立大津緑洋高等学校 (54名) 復興(The rebirth)		作曲 保科 洋 指揮 檜原 弘
33 山口県立高森高等学校・高森みどり中学校 (56名) 歌劇「トゥーランドット」から	作曲 プッチーニ	編曲 後藤 洋 指揮 田中 哲次
34 山口県立徳山高等学校 (74名) 「ラ・ヴァルス」	作曲 M.ラヴェル	編曲 天野 正道 指揮 熊野 文政
35 山口県立山口中央高等学校 (78名) 交響詩「禿山の一夜」	作曲 ムソルグスキー	編曲 リムスキー=コルサコフ 指揮 西村 正浩
36 山口県立防府西高等学校 (80名) 陽はまた昇る		作曲 Philip Sparke 指揮 野上慎二郎

16:30~

全真合唱

「翼をください」

6月16日(土)

9:30~

全真合唱

1 山口県立山口農業高等学校 (20名) 姫雅舞	作曲 岡田舂之扶 指揮 井町 好子
2 宇部鴻城高等学校 (19名) 鶯の舞うところ	作曲 S.Reineke 指揮 松田 康彦
3 山口県立華陵高等学校 (10名) SONG OF WALES	作曲 A.O.デイヴィス 指揮 近間 弘子
4 宇部フロンティア大学付属香川高等学校 (20名) 式典のための行進曲「栄光をたたえて」 アミューズメント・パーク組曲より	作曲 内藤 淳一 作曲 高橋 宏樹 指揮 河野 正
5 山口県立下松工業高等学校 (27名) 交響的詩曲「走れメロス」	作曲 福島 弘和 指揮 柳 敏恵
6 山口県立西市高等学校 (18名) 百年祭	作曲 福島 弘和 指揮 古谷 弘子
7 山口県立田布施農工高等学校 (21名) アミューズメント・パーク組曲	作曲 高橋 宏樹 指揮 山根 浩之
8 山口県立豊北高等学校 (21名) いつも風 巡り会う空	作曲 福島 弘和 指揮 高木 雅明

	9	山口県立岩国工業高等学校 (22名)	吹奏楽の為の序曲			作曲 坂田 雅弘 指揮 山下やよい
	10	山口県立下関工業高等学校 (18名)	スイ			作曲 石毛 里佳 指揮 中村 亮
弦楽合奏	11	山口県立防府高等学校 (10名)	セントポール組曲より			作曲 ホルスト 指揮 角中悦太郎
	12	山口県立柳井高等学校 (34名)	「弦楽セレナーデ」より			作曲 A・L・ヴォルザー 指揮 松本 真実
管弦楽	13	山口県立宇部中央高等学校 (8名)	もう一度 夢みたものは	作詞 星野 富弘 作詞 立原 道造		作曲 千原 英喜 作曲 木下 牧子 指揮 福岡恵美奈
	14	野田学園高等学校 (50名)	明日へ続く道 青い鳥	作詞 安岡 優	作詞 星野 富弘 作曲 北山 陽一 指揮 田中 睦	作曲 千原 英喜 編曲 牧戸 太郎 伴奏 木橋 奏子
	15	山口県立萩高等学校 (55名)	明日へ続く道 HEART BEAT		作詞 星野 富弘 作曲 HIDEBOH 阿部 浩一 指揮 有富 美子	作曲 千原 英喜 編曲 阿部 浩一 伴奏 藤村早希子
	16	山口県立防府高等学校 (15名)	歩いていこう		作曲 水野 良樹 指揮 角中悦太郎	編曲 久 隆信 伴奏 木戸 寛捺
管弦楽	17	誠英高等学校 (15名)	JOY			
12:49~ 吹奏楽	18	柳井学園高等学校 (16名)	Jump-start			作曲 Matt Haris 指揮 木村 健康
	19	山口県立熊毛南高等学校 (27名)	写楽			作曲 高橋 伸哉 指揮 梅本 純子
	20	高水高等学校 (29名)	ARSENAL 元禄			作曲 Jan Van der Roost 作曲 楠田 鉄之扶 指揮 赤川 優子
	21	山口県立光丘高等学校 (39名)	さくらのうた			作曲 福田 洋介 指揮 中村 泰久
	22	山口県立厚狭高等学校 (41名)	ウイズ・ハート・アンド・ヴォイス			作曲 ギリングハム 指揮 横山 達也
	23	山口県立豊浦高等学校 (43名)	カーニバルのマーチ CELEBRATION	作曲 KOOL&THE GANG		作曲 杉本 幸一 編曲 植田 薫 指揮 三好 章友
	24	山口県立下松高等学校 (43名)	交響曲第3番			作曲 J. バーンズ 指揮 上田 憲明
	25	山口県立柳井高等学校 (46名)	マードックからの最後の手紙			作曲 樽屋 雅徳 指揮 松本 真実
	26	山口県立防府高等学校 (50名)	テイル・オイレンシュピーゲルの愉快なはずら	作曲 R. シュトラウス		編曲 森田 一浩 指揮 角中悦太郎
	27	山口県立萩高等学校 (53名)	ていーだ			作曲 酒井 格 指揮 南 伸一
	28	山口県立宇部商業高等学校 (56名)	宮崎駿アニメファンタジー	作曲 久石 譲		編曲 山下 国俊 指揮 藤元 徹
	29	山口県立下関西高等学校 (70名)	サウンド・アンド・スモーク			作曲 V. クオン 指揮 藤田 隆行
管弦楽	30	山口県立下関南高等学校 (60名)	「謝肉祭」序曲			作曲 A・D・ヴォルザー 指揮 飯田 幸生
	31	山口県立下関中等教育学校 (70名)	交響曲第4番へ短調より第4楽章			作曲 P・I・チャイコフスキー 指揮 秋本 隆
管弦楽合唱	32	山口県立山口高等学校 (112名)	歌劇『ローエングリン』第2幕から「エルザの大聖堂への行列」			作曲 Richard Wagner 指揮 中川 聡

15:30~

観客式

主管校校長あいさつ 全員合唱「翼をください」

翼をください

作詞 山上路夫
作曲 村井邦彦
編曲 鶴原勇夫

Moderato

mf *3*

いま — わたし の ね が — い ご と が か
いま — と み と か め い — よ な ら ば い

な う な ら ば と つ ば さ が ほ し い
な な い け ど つ ば さ が ほ し い

女声 *mf* ル ル ル — ル ル ル ル ル — ル ル
し ろ い つ ば
い ま も お な

男声 *mf* *3*
こ の — せ な か に と り — の よ う に
こ ど — も の と き ゆ め — み た こ と

さ (つ ば さ) つ け て く だ さ い い } こ の お お ぞ ら に — つ ば
じ (お な じ) ゆ め に み だ い る } し み の な い — じ ゆ

1. さ を ひ ろ げ — と ん で ゆ き た い よ — かな.
う な そ ら へ — つ ば さ は た め か. せ — ゆ き た い

2. *3*

一、いま私の願いごとが
かなうならば 翼がほしい
この背中に 鳥のように
白い翼 つけて下さい
この大空に 翼をひろげ
飛んで行きたいよ
悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ 行きたい

二、いま富とか名誉ならば
いらないけど 翼がほしい
子どもの頃 夢見たこと
今も同じ 夢に見ている
この大空に 翼をひろげ
飛んで行きたいよ
悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ 行きたい

◇ ホール内での飲食、喫煙、携帯電話の使用はご遠慮ください
◇ 非常口のご確認をお願いします